

モザンビーク共和国月報（2019年3月）

主な出来事

【内政】

- 和平プロセス（ニュシ大統領とモマデ・レナモ党首との会談）

【外交】

- リベイロ葡外務国際協力副大臣の来訪
- ニュシ大統領のエスワティニ公式訪問

【経済】

- 非開示債務問題の現状

【内政】

和平プロセス（ニュシ大統領とモマデ・レナモ党首との会談）

（1）7日、大統領府において、ニュシ大統領とモマデ・レナモ党首は会談した。今般の会談は、2月27日に大統領府で行われた会談に次ぐもの。

（2）会談後、ニュシ大統領は、記者団に対し、前回の会談から2週間も絶たないうちに今般の会談が実現したことは、モザンビークの政情が安定している証左だと述べた上で、2016年以来、政府とレナモは停戦状態であると説明した。さらに、ニュシ大統領は、一国の首脳の立場からすると、平和が脅かされている状態においては、国が安定しているという事実だけでは不十分だとした上で、平和の維持に向けたプロセスの継続の重要性を唱えた。

（3）政府とレナモとの間でのもう一つの重要な案件は、地方分権に係る対話であり、ニュシ大統領は、10月15日の国政選挙を規律する法案の審議が行われており、同法案の成立の重要性を強調した。

（4）ニュシ大統領とモマデ党首は、非武装化の覚書履行を加速し早急な和平を達成することに合意した。

(3/7、クラブ・オブ・モザンビーク紙)

【外交】

リベイロ葡外務国際協力副大臣の来訪

（1）10日よりモザンビークを訪問しているテレザ・リベイロ葡外務・国際協力担当副大臣は、ロザリーオ首相をはじめとする閣僚に面会し、葡とモザンビークの二国間関係を評価し、第4回首脳会合を準備し、2017年に両国が署名した戦略的協力プログラムを深化させる。

（2）葡語圏協定イニシアティブ（Lusophone Compact Initiative）の枠組みの中で、モザンビーク、アフリカ開発銀行の間でモザンビークのための協定を規定するMOUが、今般のリベイロ副大臣のモザンビーク訪問の機会に署名される。

(3) リベイロ副大臣はモザンビーク葡商議所主催の開発のためのファイナンスと民間企業の投資の役割をテーマとする夕食討論会に出席した。両国の企業家の参加を得て開催された同夕食討論会にはマレイアーネ経済財務大臣とマテウス・マガラ・アフリカ開発銀行副総裁が講演者として参加した。

(4) ニュシ大統領は本年後半に葡を訪問し第4回モザンビーク葡首脳会談に参加する予定である。

(5) ロザリオ首相と会見したりベイロ葡外務国際協力担当副大臣は首脳会合の時期について明確にしなかったが、7月から12月の間に開催されるであろうと述べた。

(6) ロザリオ首相との会見においては、葡がモザンビーク及びその他の葡語圏諸国のために適用される4億ユーロに上る資金供与のメカニズムについても話し合われた。

(7) モザンビーク葡首脳会合は本年で第4回目となり、直近の会合は昨年7月にモザンビークにおいて開催された。両国は、両国の発展のための戦略について協議する予定である。

(3/13、14、オ・パイス紙)

ニュシ大統領のエスワティニ公式訪問

(1) 15日、エスワティニを公式訪問中のニュシ大統領は、ムスワティ三世国王と会談し、マプト首都圏における深刻な水不足を解消するために、同国ウンベルズィ川にあるダムの水をモザンビークに分けるよう同国王に要請した。ニュシ大統領は、マプト大都市圏の貯水率は現在25%で、現状のままでは一年間の水の使用量すらまかなうことができないため、ムスワティ三世国王に要請したところ、同国王より、関係閣僚と前向きに検討する旨回答を得たと、記者団に対し述べた。

(2) また、両首脳は、マプト港及び同港とゴバ（エスワティニ）とを結ぶ港湾鉄道を利用した輸出入に係る保証金の廃止について合意した。これまで、エスワティニは、同港湾鉄道利用に係る保証金が高額なため、マプトよりも距離的に遠いダーバン（南ア）の港を利用してきた。今般の保証金廃止により、マプト・ゴバ間の港湾鉄道の利用率が上がる見込み。

(3) さらに、ニュシ大統領は、モザンビークからエスワティニに輸出している電力量の増加を提案した。加えて、2022年までにモザンビークで生産・輸出可能になるであろう天然ガスを同国に輸出し、同国がその天然ガスを利用して発電することもあり得ると述べた。

(4) 今般の公式訪問には、ルーカス・マプト港長の他、マラー税関長、マタベレ鉄道港湾公社（CFM）総裁等が同行した。

(3/18、オ・パイス紙)

【経済】

主要経済指標

- ・ 名目 GDP : 123.3 億米ドル (2017 年世銀)
- ・ GDP (1 人あたり) : 415.7 米ドル (2017 年世銀)
- ・ GDP 成長率 : 2.9% (2017 年, IMF 推定)
- ・ 輸出 (通関ベース) : 47.19 億米ドル (2017 年中銀)
主な輸出品は, 石炭, アルミニウム, 電力, 天然ガス, たばこ, 重砂, 砂糖, 果物。
- ・ 輸入 (通関ベース) : 51.83 億米ドル (2017 年中銀)
主な輸入品は, 機械類, ディーゼル, ポークサイト, 建築資材, 電力, 医薬品。
- ・ インフレ率 : 5.65% (2017 年通年, 国家統計院)

経済関連など

非開示債務問題 : 検察庁が債務保証の取り消しを要求

1 日, モザンビーク検察庁は, 国家を代表し, 非開示債務問題に関与した 8 つの外国団体・人を相手取ってロンドン高等裁判所に対して民事訴訟を提起した。検察庁は国家が ProIndicus に与えた保証は違法であるため, 保証の取り消し, 詐欺行為があったことからモザンビーク国に対する補償金の支払い, 及び, MAM に対して付与された保証により生じた債務の支払いを要求している。(3/1 オパイス紙)

非開示債務問題 : シャン前財務大臣の送還見送り

11 日, シャン前財務大臣の裁判の審理が開催されたが, 同審理は 3 月 18 日に延期された。シャン前財務大臣の弁護団は二か国からの送還要請のうちどちらを先に審理するかについて南アフリカの法務大臣が決定するよう要請を行った。(3/11 オ・パイス紙)

非開示債務問題 : ロザーリオ首相発言

13 日, ロザーリオ首相は, モザンビーク共和国議会において, 「非開示債務問題に関連する最新の動向は, 政府と国際機関及び債権者との関係において相互作用として考慮されなければならない。」旨述べた。同首相は, 2016 年半ば以降, ProIndicus, Eatum 及び MAM の債務支払いは停止しており, 政府はモザンビークの国益を保護するための解決策を見いだすために債権者と協議していると強調した。野党とモザンビーク市民社会は, 非開示債務保証は違法であり, 債務の取り消しを要求している。(3/14 AIM 紙)

(了)